

自主臨床研究

栄養発育研究グループ

小児胆汁うっ滞性肝疾患の病態進展機構の理解、 予後予測因子の探索に関する研究（後方視的研究）

実施期間	～2024年7月31日
研究機関	多施設共同研究
研究目的	胆汁うっ滞性小児肝疾患罹患児の肝組織の Omicsデータを取得し、診療情報との統合的な解析を行うことにより、当該疾患の肝病態の進展に関与する分子機構について示唆を得るとともに、本知見に基づき、当該疾患の予後予測因子を探索することを目的とする。
対象	参加医療機関に通院歴のある進行性家族性肝内胆汁うっ滞症、良性反復性肝内胆汁うっ滞症、胆道閉鎖症、アラジール症候群、シトリン欠損症等の小児胆汁うっ滞性肝疾患患者
プライバシーの保護	疾患症例、対照症例共に全ての症例において、研究対象者の通院施設において、本研究用のIDを用いて研究対象者個人に関する情報の匿名化を行う。IDと個人識別情報(患者番号などの症例 認識番号)との対応表は各参加施設の本研究の個人情報管理者の管理下に置かれる。
外部への試料・情報の提供	匿名化された情報が東京大学の研究機関に提供されます。研究機関へのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。

お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

大阪大学大学院医学系研究科

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2－2

大阪大学大学院医学系研究科小児科学

小児科学 別所一彦（准教授）

06-6879-3932

e-mail: bessho@ped.med.osaka-u.ac.jp